

丹沢歩行訓練

日時：2012年2月11日(土)

参加者：金井良一(CL), 杉本伸一(記) 敬称略

山域：大倉尾根－塔ノ岳－丹沢表尾根－三ノ塔尾根

コースタイム：7:35 大倉駐車場－8:30 見晴茶屋－9:30 堀山の家－10:30 花立山荘

11:40 塔ノ岳－12:30 書策小屋－14:30 三ノ塔－15:30 牛首－16:00 山岳 SC

16:20 大倉駐車場



2月末に予定している雪山登山の事前トレーニングも兼ねて、金井代表が、丹沢表尾根に行くとお聞きし、私も同行させて頂いた。

今回は、ボッカ訓練も考えたが、途中でバテて、残業になったら申し訳無いので、コースタイムで歩けることを課題にした。

当日は天気が良く、日差しも暖かく、またしてもない山行日よりであった。

積雪に備えて、ピッケル、アイゼンなどの冬山装備を持参したが、ピッケルなど持っている人は我々以外に居なかった。下から見る限り、

稜線に雪は見えない。ちょっと肩透かしを喰らった感じだ。

気を取り直し、舗装された道を登山道へと進む。登山道に入り山道らしくなってきた頃から、日差しと、久しぶりの山歩きのためか、2月というのに上着がいらぬほど暑くなってきた。見晴茶屋で、上着を仕舞い、小休止。

見晴茶屋を後にし、登山道を進む、この頃から体も温まり、調子良く進める。ほぼコースタイム通り堀山の家に着く。

堀山を過ぎた頃から、登りがきつくなる。2年前、勘七の沢を遡行した際の下降ルートが大倉尾根で、このルートを降りながら「ここを登るのは大変そうだな」と思った事を思い出した。

花立手前の登りは、やはり厳しかった。しかし、装備が軽い事と、花立山荘の計らいだろうか、赤地に「おでんあります」と書かれた看板が、階段の下から見えて力が沸いてきた。辛いながらも、重たい足を前に出し続けて花立山荘前に到着。ここまでは、日差しも強く、2月とは思えない程、温暖な気候であった。花立を過ぎ、塔ノ岳を目指す。この先は、行った事がなかったので、ワクワクしながらルートを進む。噂通り、頂上直下の登りはきつか

った。この辺りから積雪も増え、最後の斜面は凍っていた。予定より若干遅れたが、塔ノ岳山頂に到着。今までの暖かさが嘘のように冷え始めた。小雪が舞いだし、寒さが厳しくなってきた。ここでストーブを取り出し、コーヒーを沸かす。山で飲むコーヒーは格別だった。ストーブを持参するか迷ったが、以前柴崎さんより「山に行くときは、必ずストーブくらいは持って行くべきだよ」と言われた事を思い出し持参した。これは大正解だった。

ここから表尾根の縦走コースに入る。所々凍った所があるが順調に下る。数カ所崩れた場所があり、登山道が補強されている所があった。

書策小屋の跡地で小休止。表尾根に入ってから、気温が低くなり休憩時には着込まないと寒いくらいだった。ここから雪が柔らかい所と、溶けてドロドロの道になるが、比較的緩やかな道なので順調に進む。三ノ塔の手前で岩場があった。縦走路でも岩場があるのに驚いた。ホールド・スタンス共に豊富だし、鎖もあるので何の問題もない。三ノ塔手前の登りも急で辛かった。頂上に着いたら休めると言い聞かせ足を進める。やっと頂上に着いた。さあ休もうと思ったが、雪解けの状態で泥濘がすごい。結局、三ノ塔尾根の途中まで行き休憩する事にした。下りは、少し早歩きくらいで丁度コースタイムとなる様であった。牛首から林道に出て、林道を辿り山岳スポーツセンターに到着。風の吊橋を渡り、大倉駐車場に到着。同行させて頂いた金井さんと握手を交わし、無事山行が終わった。

2月末の雪山対策として、事前訓練も兼ねた山行であったが、無事終えられ充実感が得られた。金井さんに車で送り迎えして頂いて言うのも申し訳無いのですが、丹沢は、片道3時間程度で来られ、日帰り出来る手軽な山と言う印象を持った。鷹取山の岩場トレーニングと同様に、時間を作り、縦走訓練として定期的実施していきたいと考えております。

以上